

# 神奈川県ビリヤード協会 理事会 議案書

議案名：

女子代表補助および KPBA 選考会に関する課題と提案

提出日：2025 年 6 月 1 日

提出者：事務局長 石井 健一

## 1. アマナイン女子代表への補助の扱いについて

### (1) 現状

現在、神奈川県ビリヤード協会（KBA）では、都道府県選手権の女子代表に対しては「代表補助（旅費・宿泊費上限 3 万円+エントリーフィー）」を支給していますが、全日本アマチュアナインボール選手権（アマナイン）の女子代表については補助が支給されていません。

### (2) 経緯

アマナインはかつて NBA 主催ではなく、当初は大阪府ビリヤード組合などが主催していたことから、KBA として正式な代表派遣扱いにしておらず、補助対象にもしていませんでした。

その後、アマナインは **NBA 主催の全国大会へと移行し**、現在では都道府県選手権と同等に NBA 主催大会としての位置づけとなっています。

### (3) 課題と提案

- 現在の補助制度のままでは、同じ NBA 主催大会であるにもかかわらず、女子代表に対する補助に不均衡が生じている。
  - 補助の有無が参加意欲や競技環境に影響を与える可能性もある。
- アマナインの女子代表に対しても、都道府県選手権と同様に「代表補助」を適用することを検討したい。

## 2. KPBA による女子代表選考会の開催に対する補填について

### (1) 現状と背景

- KBA では、理事の多くが店舗経営に従事しており、代表選考会の運営が困難な状況が続いています。
- このため、KBA が本来行うべき女子代表の選考会（都道府県選手権・アマナイン）を KPBA が代行して実施してきました。

### (2) 問題点

- 選手数の少なさや開催地の制約（神奈川から遠い場所への遠征は経済的な負担が大きい理由でエントリーが例年少ない状況です）などにより、したがって、KPBA 側が予選の会場費は払っても運営費を賄えないケースもあると聞き及んでいます。
- これまで KPBA は特に金銭的補助を求めることなく継続的に協力してくれてきましたが、このままの運営が続くことは健全な関係とはいえません。

### (3) 提案

- 今後も良好な関係を維持し、継続的に選手育成と代表選考を円滑に行っていくために、KPBA が行う代表選考会について、必要に応じて KBA から開催費等の補填を行う制度を検討したい。